



6/1 「介護予防サロン」
手話コーラスの
練習風景。



8/2 いじめをなくそうサミット
小中学校の生徒、保護者、
教師がいろんな立場から考え、
アピールを発信しました。

- 6/1 介護予防サロンボランティア
- 2 議会全員協議会
- 3 菩提寺小学校運動会 精神保健相談業務
- 4 甲賀・日野・湖南身障者更生会合同
グラウンドゴルフ大会
- 6 甲西北中学校「帯コン」ボランティア
- 7 議会広報委員会 さつき会理事会
- 8 風船バレーボール大会実行委員会
- 9 議会本会議 福祉教育常任委員会
精神障害者家族会総会
- 10 湖南市障がい児者団体連絡協議会総会
菩提寺歴史文化資料室歴史講座
障がい者スポーツ教室ボランティア
- 12 グループホーム宿泊ボランティア
- 15 菩提寺歴史文化資料室運営協議会
- 16～20 議会本会議(20日一般質問)
- 17 ことばの教室親の会総会
- 20 議会予算常任委員会
- 21 議会福祉教育常任委員会
- 24 障がい者スポーツ教室ボランティア
- 25 年金相談業務 就労相談業務
- 26 ケアハウスボランティア
- 27 議会本会議 議会運営委員会
- 28 石部老人福祉センターまつり反省会
菩提寺小学校クラブ活動ボランティア
- 29 議会広報委員会 年金相談業務
農業福祉連携事業運営委員会
- 30 子育てサロンボランティア
- 7/1 介護サービス相談業務 通学路相談業務
- 3 さつき会理事会 湖南市タウンミーティング
- 4 通学路チェック タウンミーティング
- 5 菩提寺小学校クラブ活動ボランティア
NPO相談業務
- 6 議会運営委員会
介護予防サロンボランティア
- 7 議会広報委員会
- 8 身障者相談員研修会
障がい者スポーツ教室ボランティア
- 9 農業福祉連携事業勉強会
- 10 グループホーム宿泊ボランティア
- 12 ひきこもり相談業務
- 13・14 タウンミーティング
- 14 子育てサロンボランティア
- 16 ふるさと防災チーム会議
甲西駅前診療所まつり
- 18 議会福祉教育常任委員会 広報委員会
- 19 議会庁舎特別委員会傍聴 起業相談業務
- 20 ケアハウスボランティア
- 21 防災サロン
- 22 北山台夏祭り
- 24 勤労青少年ホーム施設使用説明会
- 25 議会福祉教育常任委員会
- 28 ミニ集会 介護サービス相談業務
- 29 湖南市障がい児者団体連絡協議会役員会
ちろば会夏祭り
- 31 栗東・湖南広域行政協議会 議会運営委員会



8/18 三日月知事が
天然記念物ウツクシマツ
自生地(平松)を視察
保護育成に関わる
保存会の説明を熱心に
聞かれました。



8/20 市政報告会
活動報告のほか子育て支援、健康
や高齢者施策、まちづくりなどに
ついて意見交換をしました。



8/23 土曜日事業菩提寺
歴史ワークショップ
菩提寺小菩提寺北小
児童が歴史を学んだあと
「菩提寺検定」を
受けました。

8/26 甲西中学校新校舎棟
完成お祝い式
市内全小中学校の耐震化が完了し、
各中学校にはエアコンが
整備されました。



- 20 消防団火災防御訓練 植中みやこ市政報告会
- 22 議会全員協議会
介護保険相談業務
- 23 土曜日事業菩提寺歴史ワークショップ
- 25 議会運営委員会 広報委員会
- 26 甲西中学校新校舎棟完成お祝い式
- 27 身障者更生会ふれあいぶどう狩り 難病相談業務
- 28 ケアハウスボランティア
- 29 議会本会議 就学援助相談業務

植中みやこ

〈湖南市議会議員〉

ぶらうにーおばさんニュース

発行責任者 黄瀬 昇

第56号

2017年9月

くらしのねがいを市政に!



福祉のまちづくり

9月に入り、空の色も秋めいてきましたが、夏のお疲れが出ないように、どうぞご自愛ください。私が使命感を持って、議員活動を続けさせて頂いておりますのも、皆さまのご指導とお励ましのおかげと、心より御礼申し上げます。

今年も、各地で豪雨被害が繰り返される不安定な天候が続いています。このほど、昨年の熊本地震での教訓や総合防災訓練の検証をふまえて、湖南市地域防災計画が修正されました。また、北朝鮮を含む緊張した国外情勢を受けて、国民保護計画の避難実施要領等も追加されました。平穏な日常に感謝し、いつ起きるかわからない災害や有事に対して、しっかりと備えておきましょう。

大地震時の対策として、築40年近くを経過し、耐震の出来ていない市東庁舎の改修が、平成32年度末の完成を目指して計画されています。近辺の公共施設の統合等も併せ、費用は、国の交付金も活用しながら、総額で約64億円と推定されています。この件に関して、7月には4つの各中学校区でタウンミーティングが開催されました。さまざまな質問や意見があったものの、今後の具体的な進め方については、広く市民に公表し、議論を重ねる必要があります。

国政では、私たち国民が常識では判断できないような案件が、次々と出てきています。私たちの税金は、本当に公正に使われているのでしょうか？ 政府は、疑問点をわかりやすく、はっきりと示し、説明責任を果たすべきです。

地方自治体(県や市町)では、国とは違い、二元代表制を採用しており、首長(市長等)と議員が別々に選挙で選ばれます。ですから地方自治体の議員は、基本的に首長の与党でも野党でもない、市民派・住民派であるべきと考えています。湖南市民の皆さんにとって必要なことは、命や日常の生活に直結する、大切な税金の使い道をしっかりとチェックし、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつなげることです。私は、これからも、どの政党にも属さない市民派・住民派として、がんばってまいります。今後ともご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

★BROWNIE...★

ぶらうにーは伝説の中に出てくる妖精です。疲れている人、困っている人の仕事をこっそり、ひそかに手伝うと言われています。ぶらうにーのように「まちの人たちのために働きたい」植中みやこの願いです。

ご相談も
お受けして
います

“何でも相談” 安心ネットワーク
代表 植中みやこ

なんでも困ったことは、お気軽にご相談ください。
プライバシーは絶対に守ります。

TEL/FAX **0748-74-1060**
<http://www9.plala.or.jp/u-miyako/>

●お知らせ●

「植中みやこをはげます会」
を開催いたします。

皆さまお誘いあわせの上ご来場くださいますようお願い申し上げます。

日時: **9月30日(土) 14時～**
場所: **菩提寺コミュニティセンター(菩提寺診療所隣)**
「植中みやこを育てる会」 会長 黄瀬 昇
TEL 0748-74-1060

～ 会長あいさつ～

植中みやこを育てる会
会長 黄瀬 昇

平素より、当会の活動にご指導ご支援賜りまして、誠にありがとうございます。

早いもので、植中議員も皆さまに支えて頂きまして、17年近く議員活動を重ね、多くの分野で実績を出してまいりました。中でも「福祉・教育関係は植中」と、ご信頼頂いておりますことを大変うれしく思っています。今も残暑の中で、相談業務やボランティア、市民活動に走り回っています。「現場に入らないと、市民の皆さまの本当に必要な施策はつukれない」というのが彼女のモットーです。

近年、地域コミュニティの希薄化が進み、災害時の対応や自治活動等に課題が出てきています。個々人の活動から地域全体の活動、そして湖南市民全員参加の「生きがいシステム」へ、各種団体や事業所、ボランティア、在勤・在学の人たちも含めた取り組みを進めるべきではないでしょうか。

「生きがいシステム」の一つとして、障がいのある人や高齢者引きこもりの人、ニート等の就労支援を目指した、「福祉を農業の現場にとりいれる農福連携の取り組み」が始まり、植中議員も積極的に参画しています。土にふれ、植物や動物を育てることによって、さまざまな人の癒しにつながることを期待しています。

この「ぶらうにーおばさんニュース」は、56号を数えました。市内に約1万2千部配布しています。市政報告や活動報告は、植中議員が初めて当選させて頂いた時の公約の一つでした。お約束を守り、多くの方にお手伝い頂きながら、お届けしています。

「安心して子どもを育て、高齢になっても安心して暮らせる、人が集い、心がかよう、支え合いのまち」を目指してがんばる植中議員に、今後とも暖かいご支援をお願い申し上げます。



会長 黄瀬 昇

あなたと始める あなたと考える

安心して子どもを育て、高齢になっても安心して暮らせる
人が集い、心がかよう、ささえあいのまちを目指して

これからもがんばります

- 福祉・介護・医療が連動したサービスの充実
- 命を大切に、一人ひとりの可能性をのばす教育の推進
- 若者が夢を持って働ける、活気あるまちづくり
- 災害に強い地域づくり
- 農業と福祉の連携事業の推進
- わかりやすく、信頼される議会への改革推進
- 地域社協の取り組み

など



取り組んできました

- 生まれてから成人期まで支援する全国初めての「発達支援センター」の開設
- 障がいのある人が地域でいきいきと暮らすための条例制定
- 介護保険・介護予防事業の充実
- 安全な通学路の整備
- 不登校・ひきこもりの人の支援充実
- 学童保育所の整備
- 病児・病後児保育
- 市内循環バスの充実

など



6月議会報告一般質問(一部)

1.給食費の無料化の考えは

【問】子どもの相対的貧困率が16.3%ということから、35人学級に5～6人は該当すると考えられます。国の将来を担う子どもの経済格差から健康格差への悪循環を断ち切るためにも、また、子育て世代の教育費の軽減のためにも、給食費無料化の方向は？

【答】毎年2億5千万円の財源が必要となり、厳しい財政状況の中でさまざまな角度からの検討と、市民の意見を充分にくんだ慎重な議論が必要です。

2.ヘルプマークの周知を

【答】ヘルプマークは、外見からはわかりにくい内部障がいや難病、妊娠初期の人等が、援助や配慮を必要としていることを知らせるマークです。滋賀県では4月からスタートし、社会福祉課で配布しています。広報こなんや組回覧等で理解を進めていきます。



ヘルプマーク

3.地域防災にも女性の主体的な参画推進を

【問】生活に根ざした女性のきめ細かな視点が、備蓄品の精査等の防災対策や避難所運営に欠かせません。

【答】女性リーダーの育成に、防災士認定事業には各地域から女性の推薦をお願いします。今後、各区で作成されていく地区防災計画でも、計画段階から女性の視点を十分に活用した検討を頂きます。

応援しています!!

- 北山台 元区長 田中 宏明
- 湖南市障がい児者団体連絡協議会 会長 上野 実
- 湖南市ことばの教室親の会 会長 千田 由美
- 湖南市身体障がい者更生会 会長 望月 惇二

プロフィール

平成12年 3月～ 甲西町議会議員
16年 3月～ 湖南市議会議員
23年 11月～ 副議長・議会活性化特別委員会 委員長
公立甲賀病院組合議会監査委員
その他 福祉教育常任委員長(3期) 等

- 社会福祉法人理事
- 生涯学習インストラクター
- 身体障がい者相談員
- 滋賀県障がい者スポーツ協会 指導員
- CAP(子どもへの暴力防止)スペシャリスト